

# 静岡県東部地域の活性化を考える サンフロント21懇話会とは?

サンフロント21懇話会は、沼津市魚町にある、静岡新聞社・静岡放送の東部総局ビル「サンフロント」開設を機に、東部地域の活性化に向けてさまざまな提言を行つてきた。平成七年に静岡県東部地域(富士川以西・五市町村)で活躍する産業界、医師・弁護士、市町村長、県の行政機関の責任者など官民各界のリーダーを中心に発足した。これまで東部地域の活性化、発展につなげる数々の政策提言を行ってきた。

サンフロント21では、東部地域の飛躍の力となる新たな地域開発戦略として、一極集中型でなく、複数の都市が経済や教育、文化・スポーツなどの機能を分担した、多極分散型地域構造を構想している。また、二〇〇八年事業活動計画として、富士山静岡空港開港による地域振興。更に、広域行政の推進支援、ファルマバレープロジェクトの推進支援、東部地区におけるコンベンション機能の促進、富士、箱根伊豆を束ねた広域観光の促進、Mt.FUJIエコサイクリングへの支援を挙げている。

とりわけ、沼津駅周辺整備事業推進のため多くの施設設備の必要性が提案されて、その財源は多額の県税投入も考



沼津駅北口のイベント施設想像画(イメージ)

の施設概要は三三〇〇人収容会議室・展示場三三〇〇m・高さ一五・〇メートルとなっている。コンベンションの構築、交通の利便性、JR線沼津駅の立体化が実現すれば、人の行き来が増えるところがあるが、しかしどこも施設が多くありすぎて稼働率は悪いのが現状。人口は減少傾向にあるが、人口が増えれば、施設の採算が良好になる保障はない。

現に〇八年四月に鳴り物入りでできた、沼津駅南口の「イラデ」の波及効果は少ない状況にあるとの報道がされている。ビル風が強く寒々の状況だと聞く。

問題は、サンフロント21という任意団体が政策提言を行うのは勝手だが、市民・県民の預かり知らないところで、知事や県議、市町長等を巻き込み、政策が遂行されていくのが怖い!

九月十九日、東京高裁で、東海大地震の震源域に建つ浜岡原子力発電所の周辺住民らが、中電に一、四号機(出力合計三六二万七千KW)の運転差止めを求めている裁判の控訴審第一回、頭弁論が開かれた。当日は、三島からも七名の傍聴者が参加した。

この裁判は、静かに歌うことと沢田研一の九条宣言。六十才少し声を揚げようとしてジュリエイが歌う九条宣言。よつやくに秋彼岸きて草むらに余熱のことく曼珠沙華はあり。前号の「風」は、「光」の誤記でした。謝して下記のごとく訂正いたします。

時事川柳 浅野 和子

板倉 毅武

九月十九日 東京高裁の前 静岡の訴訟団

浜岡原発差止め訴訟 控訴審東京高裁

この店は、以前はバーで飲み客として出入りしていた。主人の四宮浩司さんが、レストランで働いていた経験を生かし、四年前、借り受けてカフェ・レストランを始めたこと。

営業時間は、昼十二時から十四時まで、イタリヤ料理を中心にしたメニューを用意。夜は十八時〇時まで営業。火曜日は定休日。

「主人は趣味で、自身もギターをやり、月に一度、東京や海外から呼んだミュージシャンによるジャズ、ボサノバ等のコンサートを開いている。

# dilettante cafe Tel:055-972-3572

十月二十八日は、ピノ宮野寛子、フルート上西智子、ボカル・ギタール高尾典江さん等によるランチタイムコンサートを予定している。予約は前日までに電話で、チャージ二五〇〇円。

飲み物は、サイフォン珈琲四〇〇円、ソフトドリンク五〇〇円その他料理等は下記メニュー。

伊豆箱根線 沼津駅 時の鐘 源平川

チカ藤 トマトがのりおろしなカレー 850yen

チキチキとフルーツの盛り合わせ 950yen

カレーとピザの組み合わせ 900yen

その他

【原子力の日】特別講演 巨大地震が原発を襲うとき

原子炉専門家やさしく語る 恐ろしい話

講師 京都大学原子炉実験所 小出裕章氏

日時:10月26日(日) 13:30開場 14:00開演

会場:三島市民生涯学習センター3階講義室

三島駅南口徒歩7分 TEL055-983-0888

資料代 当日1000円、(前売り800円)

主催 原発震災を防ぐ風下の会

主催 核兵器をなくし平和をつくる市民の会

代表:福尾 正夫 TEL:975-1349

後援:三島市教育委員会/三島市自治会連合会/三島市教職員組合

第26回 核兵器をなくし平和をつくる三島市民のついで

2008年10月25日(土) 三島市民文化会館小ホール

10:00よりロビー展示公開(入場無料)

開場:13:00 開演:13:30 協力券500円

<プログラム>

13:30 ジャズコンサート

演奏 日大国際関係学部 Jazz&Fusion

14:15 平和へのメッセージ

アフリカの太鼓「ジャンバ」

演奏 アイニケ

主催:核兵器をなくし平和をつくる市民の会

代表:福尾 正夫 TEL:975-1349

後援:三島市教育委員会/三島市自治会連合会/三島市教職員組合

連絡先:055-986-8606

みしま原発を学ぶ会」は、東海地震震源域の真上にある浜岡原発の危険性について広く県民の皆さんに知っていただきたいと、小冊子を作りました。

しずおかに 原発はいらない!

<内容目次>

1. チョー危険な浜岡原発

2. プルサーマル計画とは

3. プルサーマルには問題がいっぱい

4. 放射能を漏らさない原発はありません

5. 「原発ありき」日本のエネルギー政策

6. 原発やめて、ソフトエネルギーに

無料です。お問合せは下記へどうぞ。

また「学ぶ会」は毎月例会を開いています。

こちらへもお出かけ下さい。

連絡先:055-986-8606

自然派ママたちの座談会

司法試験界のカリスマ伊藤真さんによる憲法講座

今回は「平成の赤紙」といわれる裁判員制度について

毎回10時 12時

第1回 10/22(水)

第2回 11/21(金)

会場:成真寺 本堂

三島市大社町7-56

連絡先:055-975-4740

参加費:1000円

楽々パソコン教室(昼の部)ご案内

毎週水曜 午前10時から11時半

会場:元三島グランドホテル向かい

みしま市民新聞事務所2F

会費:月4千円、1回千円

【個別指導対応】

ワード、エクセル、画像処理、

ホームページ作成等

パソコントラブルの相談

連絡先:055-986-1301(勝保)

三島青年会議所は、児童健全育成および地域住民を講師に招き、「生ゴミを堆肥へ」堆肥の力と化学肥料についての特集授業を函南西小で行った。同事業は「自らのまちを自らで輝かせる」ため、地域住民を学校授業の講師として幹旋・協力し、地域の活力の向上と、自らの意識の向上につなげる事を目的としている。

講師に招かれたのは、伊豆の国市や三島市で自然農業を営む長谷川勝・大橋俊弘・安井信之の各

目は農業が生命に与える悪影響、慣行農法と有機農法の比較、農業における微生物やミネラルなどの働き、生ゴミ堆肥の作り方、安井氏が実践している「声かけトマト」などについて学んだ。

授業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを

見つけていく。今回の授

業は、スライドや実験実物の比較などを使って分かり易く進められ、子供達に新鮮な驚きを与えた。二回目の授業では、実際の生ゴミ堆肥を使用して耕した畑に大根の種を植えた。

授業は五年生三クラス、約百二十名の生徒を対象に二回行われ、一回

授業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と有機農法の野菜で栄養や味が全然違うな」と、自分で考え、答えを見つけていく。今回の授

業を受けた五年生の児童は、「生ゴミが肥料になるのは初めて知った。これからはゴミをなるべく減らしたい」「慣行農法と